

平成21年3月3日

三次市長 村井政也様

三次市行財政改革推進審議委員会

会長 野原建一



三次市行財政改革推進計画(後期計画)(案)について(提言)

三次市行財政改革推進審議委員会として、三次市行財政改革推進計画(後期計画)策定に関して提言いたします。

この提言書は、平成21年2月23日に開催した、三次市行財政改革推進審議委員会において出された意見をまとめたものです。

1. 大綱にある「透明・参加・選択」という3つの柱による前期計画の検証と、後期計画への反映が必要です。
2. 人口が減少する中、行政のスリム化は避けられず、民間活力の活用による徹底した業務委託と、住民の安全、防災面での住民の多様な力の活用や事務の集中化が必要です。また、公社等についても自立性が高まるよう取組が必要と考えます。
3. 行財政改革を進めるうえで、サービス低下にならないように、むしろ、この計画を推進していくことにより、市民生活が良くなったといえるような計画であってほしい。
4. 今般の経済状況にあって、大胆かつ抜本的な行財政改革を行うため、前期計画の検証を基に後期計画の全般的な見直しをする中で、市民への情報開示ならびに市民へ参画を求め、出来る限り時間をかけて一つずつ具体化していくことが必要と考えます。
5. 行財政改革によって消費の減少、経済の縮小、市税収入の減少につながる感があり、選択と集中による積極的な施策の展開も、行財政改革の中での考え方が必要です。
6. 市がやるべきこと、地域住民がやらなければいけない事柄について、明確化が必要です。特に、福祉面、防災面については住民参加の制度や、女性の視点にたった考え方も必要です。

【三次市行財政改革推進審議委員会】

会長	野原建一	委員	當天賢二
副会長	沖田光治	委員	岡崎羊子
委員	堀江斎	委員	今澤稔子
委員	新田靖	委員	元吉吉樹

(順不同)